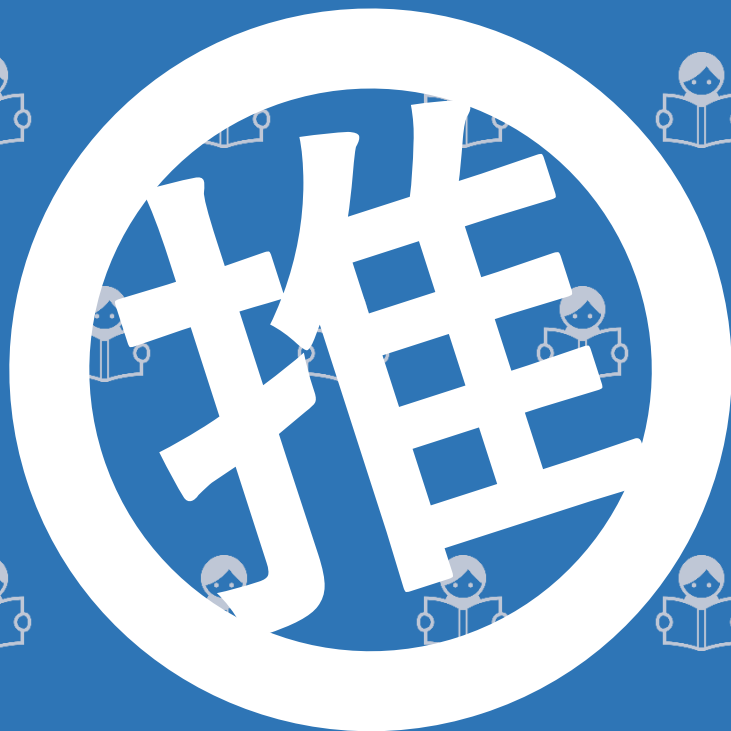


あなたのための 推薦図書

大学院で研究する先輩たちが選びました！



2022
vol.3

ご自由にお持ちください
TAKE FREE

Request

医/学部1回

Pythonの基本文法は一通りおさえたものの、まだ実用的に使えないので、スクレイピングの技術やnumpyなどの外部ライブラリの基礎的なことを「わかりやすく」説明した本が知りたいです。



Pythonによるプログラミング入門： 東京大学教養学部テキスト

森畑明昌著. -- 東京大学出版会, 2019.

↓京大図書館所蔵



プログラミングの学習は、何より自分で試してみるのが早道です。本書には実践的な問題を解くコースが用意されています。必要知識は最小限で済み、課題の分量もちょうどよいです。題材は学術的なものが多いので、Pythonを使ってレポートを書くことを考えているなら、特におすすめの本です。（情報/D3）

Pythonによるデータ分析入門： NumPy、pandasを使ったデータ処理

Wes McKinney著. -- オライリー・ジャパン, 2018.

↓京大図書館所蔵



numpyの学習はこちらがおすすめです。基本的な概念が漏れなく書かれています。（情報/D3）

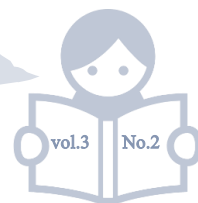
そのほかに次の書籍も紹介しました。※京大所蔵なし

- 『シゴトがはかどる Python自動処理の教科書』クジラ飛行機.マイナビ出版, 2020.
- 『図解! Pythonのツボとコツがゼッタイにわかる本 プログラミング実践編』立山秀利. 秀和システム, 2021.



途上国のフードシステムや、農業の様子、食文化などがわかる本を推薦してほしいです。

関連する、面白いと思った本
木南莉莉『国際フードシステム論』



フードシステム学の理論と体系

高橋正郎, 斎藤修編集. -- 農林統計協会, 2002.

↓京大図書館所蔵



理論と体系とあったので、フードシステムを包括的に理解するにはよいのではと思います。
(人環/M1)

食と文明の世界像

NHK編. -- NHKソフトウェア, 2003.

↓京大図書館所蔵



世界の伝統的な農業・食文化の映像資料です。たとえば豚を解体し、肉はもちろん血液まで手早く腸詰にしてソーセージとして利用する様に、その土地の気候・農業・生活・食文化の密接なつながりを感じることができます。シリーズものになっています。(理/M2)

給食の歴史

藤原辰史著. -- 岩波書店, 2018.

↓京大図書館所蔵



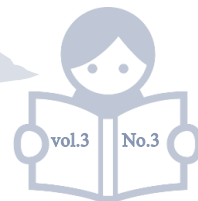
途上国についてはないですが、人文研の藤原先生の本で個人的にお勧めします。(人環/D2)

そのほかに次の書籍も紹介しました。

- 『フード・レジーム：食料の政治経済学』ハリエット・フリードマン。こぶし書房, 2006.
- 『インドのフードシステム：経済発展とグローバル化の影響』下渡敏治, 上原秀樹。筑波書房, 2014.
- Gereffi, Gary, et al. *Commodity chains and global capitalism*. Greenwood Press, 1994.



現在テキスト分析に興味があるのですが、どんな種類があるのか、それらの例などが網羅された本がありましたら推薦してほしいです。



人文・社会科学のためのテキストマイニング

松村真宏, 三浦麻子著. -- 改訂新版. -- 誠信書房, 2014.

↓京大図書館所蔵



人文・社会科学の学部生向けのテキスト分析入門書であり、基礎知識から分析方法まで幅広い内容をカバーしています。初心者も読みやすくておすすめです。(経/D2)

ディスコースを分析する：

社会研究のためのテキスト分析

ノーマン・フェアクラフ著；日本メディア英語学会メディア英語談話分析研究分科会訳. -- くろしお出版, 2012.

↓京大図書館所蔵



テキスト分析としてよく使われるのはフェアクラフの議論なので、テキスト分析をおさえるためには読んでおくべきかと思います。(人環/M1)

社会調査のための計量テキスト分析：内容分析の継承と発展を目指して：KH Coder official book

樋口耕一著. -- 第2版. -- ナカニシヤ出版, 2020.

↓京大図書館所蔵



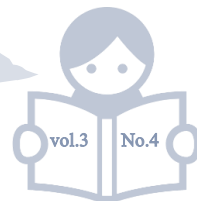
KH Coderというソフトを意識して展開したテキスト分析の本。自由記述・新聞記事・インタビューなどのデータを処理するノウハウを整理したものです。(教育/D1)

そのほかに次の書籍も紹介しました。

- 『コミュニケーションの政治社会学：メディア言説・ヘゲモニー・民主主義』山腰修三. ミネルヴァ書房, 2012.
- Howarth, David, et al. *Discourse theory and political analysis: identities, hegemonies and social change*. Manchester University Press, 2000.
- 『質的テキスト分析法：基本原理・分析技法・ソフトウェア』ウド・クカーツ. 新曜社, 2018.



「無」について、どんな考えがあるのか知りたいです。



新しい哲学の教科書： 現代実在論入門

岩内章太郎著. -- 講談社, 2019.

西洋哲学では、「有」（を認識すること）とは何かということが議論されてきました。ニヒリズム的な根源的な「無」を念頭に置いて「有」を論じた議論は多いです。実在論について解いた、こちらの図書を推薦します。(情報/D3)

↓京大図書館所蔵



「無」の思想

森三樹三郎著. -- 講談社, 1969.

中国春秋時代の哲学者、老子を代表とする道家思想の系譜を考察する一冊です。無を万物の起源と考える老子の『道德経』を読んだことがあります、「無」は中国の道家哲学において重要不可欠なテーマだと思います。(文/D1)

↓京大図書館所蔵



時間と死：不在と無のあいだで

中島義道著. -- ぷねうま舎, 2016.

とりわけ「時間論」という視点との関わりで、この本をお勧めします。著者の俯瞰力の高さと分量の少なさで、「コスバ」のいい本になるかもしれません。(教育/D1)

↓京大図書館所蔵



そのほかに次の書籍も紹介しました。

- 『空』中村元. 上, 下. 平楽寺書店, 1981.
- 『無の探求「中国禅」』塚本善隆. 角川書店, 1969.
- 『空の思想史：原始仏教から日本近代へ』立川武蔵. 講談社, 2003.
- 『イスラーム哲学の原像』井筒俊彦. 岩波書店, 1980.



人生のやる気が出る本が読みたいです！



↓京大図書館所蔵



ルノワール： 色の魔術師

湯原公浩編集人. -- 平凡社, 2008.

やる気を出すというのは難しいお題ですが、酷く疲れているときに効くかもしれない本を選んでみました。私は絵画には完全な素人ですが、ルノワールの絵画には身近な生活や景色の幸福感のようなものが織り込まれていて、眺めるだけで社会生活の疲れが和らぐように思います。元気が出る！というよりは、これから前向きになるための一冊として。(理/M2)

↓京大図書館所蔵



一生モノの勉強法： 理系的「知的生産戦略」のすべて

鎌田浩毅著. -- 新版. -- 筑摩書房, 2020.

戦略と戦術がはっきりしていると、やる気が出るかなと考え、勉強法・時間の使い方に関する人気の一冊をお勧めします。(教育/D1)

↓京大図書館所蔵



人類の星の時間

ツヴァイク著；片山敏彦訳. -- みすず書房, 1972.

私の場合は歴史的な物語を読むとやる気が出やすいです。自分のちっぽけさを感じて、逆に一杯振る舞うことができるかもしれません。たとえばこの本は、学術的な歴史書ではありませんが、歴史の瞬間をクローズアップして舞台に運ぶことで、その偶然に満ちる一面を見せるオペラのような一冊です。言葉遣いに潜む膨大な感情に心を打たれます。(文/D1)

↓京大図書館所蔵



人間の条件

ハンナ・アレント著；志水速雄訳. -- 筑摩書房, 1994.

アレントは、社会は汚いが世界は美しいのだといいます。人生のやる気を出したいということは、つまりそう思わないと日々が苦しい、疲れた、何もしたくない、と思っているのかなと推測し、人間の条件とは何かを知るいいタイミングなのではないかと思いました。(人環/M1)

そのほかに次の書籍も紹介しました。

- 『京大カレッジ部スパイス活動』石崎楓著. 世界文化社, 2017.

バイオサイエンスを学び始めるための本を知りたいです。(専攻を変えるので)



Essential細胞生物学

Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 訳. -- 南江堂, 2021.

↓京大図書館所蔵



生命科学 (バイオサイエンス) を学ぶ大学生にとって大変有名で外せない教科書として、本書があげられます。分厚い本ですが、解説と図は分かりやすく、教科書のスタンダードです。(理/M2)

京大発!フロンティア生命科学

京都大学大学院生命科学研究科編. -- 講談社, 2018.

↓京大図書館所蔵



京大の関係者が出版したものとして、本書があります。こちらは教科書ですが、発展的なトピックもいくつか取り上げられています。大学院入試対策として推薦される本のひとつですので、基礎をざっと見直しつつ、発展的な展望も見ることができそうです。(理/M2)

生命科学者たちのむこうみずな日常と華麗なる研究

仲野徹著. -- 河出書房新社, 2019.

↓京大図書館所蔵

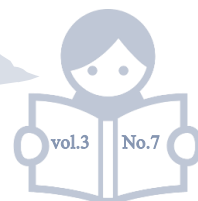


毛色の違う図書として、面白く思われるかもしれません。歴史的に著名な研究や研究者について息抜きに知っておくと、専門でも何かの拍子に役立ちますね。(理/M2)

世界（あるいは日本）にはどんな仕事があってどういう仕組みになっていてどういう人がやっているのかを網羅したような本を教えてください。いろんな職業について「ディシプリン」を知りたいです。

関連する、面白いと思った本

村上龍『13歳のハローワーク』、岸政彦『断片的なものの社会学』『アカデミアを離れてみたら』、グレーバー『プリシットジョブ』



↓京大図書館所蔵



アンダーグラウンド

村上春樹著。-- 講談社, 2003.

小説家である筆者が、地下鉄サリン事件の被害者60名にインタビューを行い、その全員についてのインタビュー内容を書き起こした書籍です。職業にフォーカスした本ではありませんが、作者の関心が被害者の個人的な人となりにあるため、多くの方の職業と日常が描かれています。駅員や商品取引、製紙工場などで働く人が、普段何をしていて、事件当日にどう感じたかという語りを聞くことができます。(理/M2)

街の人生

岸政彦著。-- 勁草書房, 2014.

↓京大図書館所蔵



いろいろな人々への聞き取りを行っている本をおすすめします。このような本は、面白いと思った本にも挙げられている岸政彦氏の著作にも多いです。本書や、『マンゴーと手榴弾』など、同じ著者の他の本も興味深く思われるかもしれません。(理/M2)

ポストフォードイズムの資本主義： 社会科学と「ヒューマン・ネイチャー」

パオロ・ヴィルノ著；柱本元彦訳。-- 人文書院, 2008.

↓京大図書館所蔵



面白いと思った本から興味関心がなんとなく分かったので、少し難しい理論系の書物をご紹介します。人間的能力をすべて市場価値へと還元し、働くことが強いられるポスト・フォードイズムの世界をもとに、社会・人間を分析し、現代資本主義を描き出します。(人環/M1)

そのほかに次の書籍も紹介しました。

- 『マンゴーと手榴弾：生活史の理論』岸政彦. 勁草書房, 2018.
- 『ディスタクシオン』ピエール・ブルデュール. 藤原書店, 2020.
- 『「職業」の発見』池田功, 上田博編. 世界思想社, 2009.
- 『戦争という仕事』内山節著. 農山漁村文化協会, 2015.
- 『われわれはどんな「世界」を生活しているのか』山室信一編. 京都大学人文科学研究所, 2019.
- 『在日朝鮮人ってどんなひと?』徐京植. 平凡社, 2012.



圏論の入門書、または下記の参考書の読解の補助となるような書籍が知りたいです。

関連する、面白いと思った本
Steve Awodey 著『圏論』



ベーシック圏論： 普遍性からの速習コース

T.レンスター著；土岡俊介訳. -- 丸善出版, 2017.

入門書としては、やはりこちらが双璧といったところでしょうか。(情報/D3)

↓京大図書館所蔵



書籍以外に、以下のWebページ等も推薦しました。

Abstract and Concrete Categories - The Joy of Cats

<http://katmat.math.uni-bremen.de/acc/>

入門を意識して具体例が多いと同時に、端的・形式的にバシバシ書かれているので、すっきりさせたいときにはよいのではないのでしょうか。(情報/D3)



戦争前後の哲学の変遷について執筆された書籍を教えてください。

関連する、面白いと思った本
西田幾多郎著『善の研究』, 岡潔著『春宵十話』



現代日本の思想

岩波書店, 1957.

↓京大図書館所蔵



丸山眞男は日本思想を体系的にとらえた哲学者であり、まだ読んでいらっしやらないようでしたら一読を勧めます。(人環/M1)

羊の歌：わが回想

加藤周一著；[正], 続. -- 岩波書店, 1968.

↓京大図書館所蔵



「現代日本人の平均に近い一人の人間がどのような条件の下にできたか、例を自分にとって語ろう」と述べる著者が紡ぐ自伝。日本思想を学ぶならこちらもおすすめです。(人環/M1)

哲学入門

三木清著. -- 改版. -- 岩波書店, 1976.

↓京大図書館所蔵



著者は西田幾多郎氏の弟子であり、西田哲学を理解するために資する一冊です。入門と名付けられているけれども、序に書いてあるように、哲学概論ではありません。学問としての哲学が面する究極的な諸問題と西田哲学がそれに与えた光とが中心となっています。(文/D1)

そのほかに次の書籍も紹介しました。

- 『京都学派と自覚の教育学：篠原助市・長田新・木村素衛から戦後教育学まで』矢野智司.勁草書房, 2021.
- 『戦後日本哲学思想概論』卞崇道.農山漁村文化協会, 1999.
- 『哲学者の自己矛盾：イスラームの哲学批判』ガザーリー.平凡社, 2015.



Request

数学・数理工学・統計学・CSなどの歴史や社会応用に関する、事例や面白い逸話などが紹介してある本が読みたいです。

関連する、面白いと思った本
サイモン・シン『フェルマーの最終定理』

工/学部4回



↓京大図書館所蔵



数学の流れ30講

志賀浩二著；上，中，下。-- 朝倉書店，2007.

著者の志賀浩二氏は、数学の歴史に関する本をいくつも執筆されています。(理/M2)

進化生態学入門：

数式で見る生物進化

山内淳著。-- 共立出版，2012.

↓京大図書館所蔵



数学の他分野への応用として、こちらの本を紹介します。数学によって生物のさまざまな生態を統一的に理解する、数理生態学の入門書です。本書の特徴として、類書のなかでは解説が平易で、専門的な前提知識をほとんど必要としないため、分野の異なる人も読みやすくなっています。内容としては、特に社会性の進化についての解説が充実しています。進化のゲーム性が直感に反するような利他性をどのように生むのか理解できます。(理/M2)

統計学入門

東京大学教養学部統計学教室編。-- 東京大学出版会，1991.

↓京大図書館所蔵



面白い逸話といえば、教科書・技術書にコラムとして散らばって掲載されている印象があります。本学で教科書としてよく使われるこちらの図書にも、そのようなコラムがあったと記憶しています。(情報/D3)

そのほかに次の書籍も紹介しました。

- 『抽象への憧れ：位相空間：20世紀数学のパラダイム』志賀浩二。紀伊國屋書店，2008.
- 『データサイエンスの無駄遣い：日常の些細な出来事を真面目に分析する』篠田裕之。翔泳社，2021.
- 『キーボード配列QWERTY（クワージー）の謎』安岡孝一，安岡素子。NTT出版，2008.
- 『エニグマ：アラン・チューリング伝』アンドルー・ホッジス。勁草書房，2015.



怪談や言い伝えをまとめた本を教えてください。

関連する、面白いと思った本
柳田國男『蝸牛考』



↓京大図書館所蔵



鬼と異形の民俗学：

漂泊する異類異形の正体

飯倉義之監修. -- ウェッジ, 2021.

近年に出された本の中から1冊ご紹介します。怪談についてご関心があるとのことですので、ご存知かもしれませんが、日本では民俗学という分野が怪談や妖怪を扱っています。(人環/D2)

現行全国妖怪辞典

佐藤清明著. -- 中国民俗學會, 1935.

↓京大図書館所蔵



京都大学の強みの一つは、昔の本を実際に手に取って読むことができる点です。こちらの本は文学部図書館で読めます。KULINEで「妖怪 民俗学」などと検索すると、ご関心の内容に近い本が出てくると思います。ぜひ図書館で読んでみてください。(人環/D2)

今昔物語集を読む

小峯和明編. -- 吉川弘文館, 2008.

↓京大図書館所蔵



時代は古くなりますが、民俗的口伝の要素を含む「今昔物語集」は日本古典文学の中でも異彩を放っています。こちらの本のような学術的解説とともに読むと興味深いです。(情報/D3)

そのほかに次の書籍も紹介しました。

- 『怪と異と奇：聊齋志異』蒲松齡. 文芸社, 2001.
- 『聊齋志異考：中国の妖怪談義』陳舜臣. 中央公論社, 1994.
- 『幻想と怪奇の英文学』東雅夫. 4: 変幻自在編. 春風社, 2020.
- 『怪異を語る：伝承と創作のあいだで』京極夏彦 [ほか]. 三元社, 2017.
- 『怪奇小説精華』ポオ, ゴーゴリ [ほか]. 筑摩書房, 2012.



予言の自己実現（自己成就）、集団思考（浅慮）などに関する本を教えてください。



考える社会学

小林淳一, 木村邦博編著. -- ミネルヴァ書房, 1991.

↓京大図書館所蔵



第1部第1章が「予言の自己成就」を扱っています。(文/D1)

大衆運動

エリック・ホフファー [著]; 高根正昭訳. -- 復刊版. -- 紀伊國屋書店, 2003.

↓京大図書館所蔵



集団行動を分析する本です。エリック・ホフファーの著作は大体大衆に関する論説が多いです。(文/D1)

社会心理学

池田謙一 [ほか] 著. -- 有斐閣, 2010.

↓京大図書館所蔵



こちらは社会心理学の定番の教科書のようなです。個別の問題を論じるまえに、関連する学問のフレームワークを知ると深く理解する事ができます。(情報/D3)

そのほかに次の書籍も紹介しました。

- 『社会心理学』唐沢かおり編. 朝倉書店, 2005.
- Eric Hoffer. *The true believer: thoughts on the nature of mass movements*. Harper & Row, 1966.



「人生でベストな1冊（今まで生きてきて、自分の人生を変えたり決定づけたりしたような本）」を、理由もあわせて教えてください。



↓京大図書館所蔵



車輪の下

ヘルマン・ヘッセ作；実吉捷郎訳。-- 岩波書店，1958.

高校の推薦図書だったのでこの本を読んだのですが、その後ヘッセのほかの本も読みました。主人公ハンスの人生は悲しくはかないものであるのですが、私にはそれと同時に美しく愛おしく感じました。一方で、私はこの本を読むことで、このように社会と整合しない美しさを感じて生きることの悩みも引き受けることになったのかもかもしれません。(情報/D3)

↓京大図書館所蔵



完訳マルコムX自伝

マルコムX著；濱本武雄訳 -- 中央公論新社，2002.

黒人解放運動の「もう一人のリーダー」マルコムXの自伝です。どこか抽象化された旗印のような権利はここにはありません。自分のありのままの姿に尊厳があることに気づき、そしてそれを離さずに生きるためには、運命と意思、そして知が必要です。政治的なゴダゴダも含まれているように感じますが、途中で読むのをやめられないようにする力を持っていて一気に読んでしまいました。公正さや勇気の必要性について私が見るとき、この本がひとつの伏流になっているのかもしれないと思います。(情報/D3)

↓京大図書館所蔵



計算理論の基礎

Michael Sipser著；阿部正幸 [ほか] 訳。-- 共立出版，2008.

私の中での、数学の基礎（どうしたら証明したことになるか？など）に対する興味と、コンピューターに対する興味の結びつきをゆるぎないものにした教科書です。私は、こういう本を読んだことなどで理学部から情報学研究科に分野を少し変えました。賞金1億円が掛かっているとして有名な数学上の未解決問題（ミレニアム問題）の一つの「P≠NP問題」も、単にその意味を表層的に解説することにとどまらず、どのようなアプローチが考えられているかも章を割いて解説するというように、読者の興味を非常に引き付けるように書かれています。(情報/D3)

↓京大図書館所蔵



論語

[孔子著]；吉川幸次郎訳。-- 筑摩書房, 1971.

「人生を変えた」とは言いにくいですが、人生にとって大きな意味がある本は『論語』です。私が読んだのは中国語版ですが、図書館に日本語訳があります。『論語』は古代中国の思想家孔子とその弟子の言行を記録した本です。乱世を生きながら徳を堅持する人の姿や、師弟間のやり取りなどが断片的な記録から読み取れ、とても感動的です。中島敦の小説『弟子』と合わせて読むことをお勧めします。孔子の弟子である子路は最初孔子の教えを納得できないまま孔子を信仰していましたが、やがて師匠の教えと自分が一体化したという物語です。『弟子』の終わりにすごく泣きました。(文/D1)

↓京大図書館所蔵



遺伝研メソッドで学ぶ科学英語プレゼンテーション：感じる力、考える力、討論する力を育てる

平田たつみ, タジ・ゴルマン, 広海健著。-- dZERO, 2016.

プレゼンの本をお勧めします。発表することが好きで、これを読んでスキルが上達しました。(工/D1)

↓京大図書館所蔵



ウィトゲンシュタイン： 天才の責務

レイ・モンク [著]；岡田雅勝訳 -- みすず書房, 1994.

この本は、ウィトゲンシュタインの「人」として、また哲学者としての姿を生き生きと描いています。ウィトゲンシュタインはまだ学生の頃から自分の分野で有名になり、数多くの不朽の哲学的洞察を生み出してきました。科学主義に反旗を翻すようになった彼の精神生活も魅力的でした。この本を読むことで、ウィトゲンシュタインが哲学的な探求に真摯に向き合ったことに感心し、哲学思想をより深く理解したいと思いました。(経/D2)

少年少女のための日本名詩選集 8 宮沢賢治

萩原昌好編。- あすなろ書房, 1986.

※京大所蔵なし

子供向けのうすい本で、一つ一つに挿絵と解説のついた詩集です。それまで宮沢賢治といえば素朴な童話のイメージでしたが、詩を読み、その激しさにまず驚きました。宮沢賢治には「感化する力」があるという言葉を見たことがありますが、まさにその通りだと。とくに妹や農民といった、大切な人々に向ける真摯で思いやりに満ちた眼差しと、理想を自問し続ける姿が、心の片隅に残ってときどき道標になってくれるように思います。(理/M2)

大学に入って新しいことを学びたい、興味のある分野をもっと深めたい、そんな学生のみなさんにオススメ！

この小冊子は『あなたのための推薦図書』という企画で選定された本の紹介です。この企画は、学内の学生さんからおすすめリクエストを募り、それに学習サポートデスク※の大学院生スタッフが回答したものです。[リクエスト期間: 2021年6月～2022年3月]
※学習サポートデスクは2022年3月末で活動終了

QRコードが掲載されているものは、京大図書館の所蔵が確認できます。
vol.1~3のうち、このvol. 3では次のようなリクエストに回答しています。

- | | | |
|-------|--|------|
| No.1 | Pythonのスクレイピングの技術やnumpyなどの外部ライブラリの基礎的なことを「わかりやすく」説明した本 | p.2 |
| No.2 | 途上国のフードシステムや、農業の様子、食文化などがわかる本 | p.3 |
| No.3 | テキスト分析の種類や例などが網羅された本 | p.4 |
| No.4 | 「無」についての本 | p.5 |
| No.5 | 人生のやる気が出る本 | p.6 |
| No.6 | バイオサイエンスを学び始めるための本 | p.7 |
| No.7 | どんな仕事があってどういう仕組みになっていてどういう人がやっているのかを網羅したような本 | p.8 |
| No.8 | 圏論の入門書 | p.9 |
| No.9 | 戦争前後の哲学の変遷について執筆された本 | p.10 |
| No.10 | 数学・数理工学・統計学・CSなどの歴史や社会応用に関する、事例や面白い逸話などが紹介してある本 | p.11 |
| No.11 | 怪談や言い伝えをまとめた本 | p.12 |
| No.12 | 予言の自己実現（自己成就）、集団思考（浅慮）などに関する本 | p.13 |
| No.13 | 人生でベストな1冊（今まで生きてきて、自分の人生を変えたり決定づけたりしたような本） | p.14 |